

放課後子ども教室NEWS

星に願いを ～あさひ子どもクラブ～

6月21日に、「あさひ子どもクラブ」を訪問しました。この日の活動は七夕かざりづくり。真夏を思わせる暑い午後でしたが、子供たちは夢中になって活動し、できあがった色とりどりの「天の川」「網かざり」「扇かざり」などを自分の笹にかざっていました。

かざりつけが終わると、いよいよ短冊です。「戦争が終わりますように」「コロナがなくなりますように」「家族が健康でいられますように」など、どの短冊にも気持ちのこもった願い事が書かれていました。



成長を信じて



「朝日小には、役割を分担したり互いに助け合ったりを自然にできる子がたくさんいます。それに、みんな発想がユニークで驚かされますね。」

「あさひ子どもクラブ」コーディネーターの渡部恵美さんは、日頃の活動の中で見つけた子供たちのよさをたく

さん教えてくれました。また、「自我が芽生えると、ルールを逸脱したり思いやりのないことを言ってしまうたりすることもあります。ずっとそのままの子はいません。どの子も必ず成長し、素直になっていきます。それを信じて、保護者のみなさんとも一緒に考えながら、スタッフ全員で子供たちに寄り添っています。」と話してくれました。

コーディネーターを中心に、成長を信じて子供たちを見守るスタッフのみなさんのあたたかいまなざしの中で、「あさひ子どもクラブ」の子供たちはいつも笑顔でのびのびと活動しています。

お迎えの時間になると、おうちの方と一緒に、みんな笑顔で1本ずつ七夕かざりを持ち帰りました。

